Unified Managerサーバーと外部データプロバイダー間の接続を設定します

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_set_up_connection_between_um_and_external_data_provider.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Unified Managerサーバーと外部データプロバイダー間の接続を設定します 1
Active IQ Unified Manager と外部データプロバイダー間の接続を設定する 1
Active IQ Unified Manager のパフォーマンスデータを外部サーバーに送信する 1
Active IQ Unified Manager からパフォーマンスデータを受信するように Graphite を設定する 2
Active IQ Unified Manager と外部データプロバイダー間の接続を設定する 3

Unified Managerサーバーと外部データプロバイダー間の接続を設定します

Active IQ Unified Manager と外部データプロバイダー間の接続を設定する

Unified Managerサーバーと外部データプロバイダー間の接続により、クラスタのパフォーマンスデータを外部サーバーに送信できるため、ストレージマネージャーはサードパーティ製ソフトウェアを使用してパフォーマンス指標をグラフ化できます。

Unified Managerサーバーと外部データプロバイダー間の接続は、メンテナンスコンソールの「`External Data Provider`」というメニューオプションから確立されます。

Active IQ Unified Manager のパフォーマンスデータを外部サーバーに送信する

Unified Managerは、監視対象のすべてのクラスタからさまざまなパフォーマンス データを収集します。収集されたデータのうち、特定のデータ グループを外部サーバに送信することができます。

グラフ化するパフォーマンス データに応じて、次のいずれかの統計グループを選択して送信できます。

統計グループ	含まれるデータ	詳細
パフォーマンス モニタ	以下のオブジェクトのパフォーマンスに関する総合的な統計データ。 • LUN • ボリューム	このグループは、監視対象の全クラスタ内のすべてのLUNとボリュームの合計IOPS / レイテンシを提供します。 提供する統計データが最も少ないグループです。
リソース利用率	以下のオブジェクトのリソース利用率の統計データ。 • ノード • アグリゲート	このグループは、監視対象の全クラスタのノードおよびアグリゲートの物理リソースの利用率に関する統計データを提供します。 また、[パフォーマンス モニタ]グループで収集された統計データも提供します。

統計グループ	含まれるデータ	詳細
ドリルダウン	以下の全追跡対象オブジェクトの読み取り / 書き込み、およびプロトコルごとの詳細な統計データ。 • ノード • アグリゲート • LUN • ボリューム • ディスク • LIF • ポート / NIC	このグループは、監視対象の全クラスタで追跡される7つのオブジェクト タイプのすべてについて、読み取り / 書き込みおよびプロトコルごとの内訳データを提供します。 また、[パフォーマンス モニタ]グループと[リソース利用率]グループで収集された統計データも提供します。 提供する統計データが最も多いグループです。

ストレージシステム上でクラスターまたはクラスターオブジェクトの名前が変更された場合、古いオブジェクトと新しいオブジェクトの両方に、外部サーバー上のパフォーマンスデータ（「metric_path」と呼ばれる）が含まれます。この2つのオブジェクトは、同一のオブジェクトとして関連付けられていません。例えば、ボリューム名を「volume1_acct」から「acct_vol1」に変更すると、古いボリュームの古いパフォーマンスデータと、新しいボリュームの新しいパフォーマンスデータが表示されます。

外部データ プロバイダに送信可能なすべてのパフォーマンス カウンタの一覧については、ナレッジ ベースの記事30096を参照してください。

"What are the ActiveIQ Unified Manager performance counters that can be exported to an External Data Provider?"

Active IQ Unified Manager からパフォーマンスデータを受信するように Graphite を設定する

Graphiteは、コンピュータ システムからパフォーマンス データを収集してグラフ化するオープン ソフトウェア ツールです。Unified Managerから統計データを受信するには、Graphiteサーバとソフトウェアを適切に設定する必要があります。

NetAppが、特定のバージョンのGraphiteまたはその他の他社製ツールをテストまたは検証することはありません。

GraphiteサーバはUnified Managerからボリュームのパフォーマンス データを受信しません。

インストール手順に従ってGraphiteをインストールしたら、Unified Managerから統計データを受信できるようにするために、次の変更を加える必要があります。

- `/opt/graphite/conf/carbon.conf`ファイルでは、Graphiteサーバー上で1分間に作成できるファイルの最大数を_200_（**MAX_CREATES_PER_MINUTE = 200**）に設定する必要があります。

  構成内のクラスタ数や送信することを選択した統計オブジェクトによっては、最初に何千もの新しいファイルの作成が必要になる場合があります。そのため、1分あたりの作成ファイル数が200の設定でも、最初

の指標ファイルをすべて作成するのに15分以上かかることがあります。指標ファイルがすべて作成されれば、このパラメータは以降関係ありません。

- IPv6 アドレスを使用してデプロイされたサーバーで Graphite を実行している場合、`/opt/graphite/conf/carbon.conf`ファイルの `LINE_RECEIVER_INTERFACE` の値を「`0.0.0.0`」から「`::`」に変更する必要があります。(**`LINE_RECEIVER_INTERFACE = ::`**)
- `/opt/graphite/conf/storage-schemas.conf`ファイルでは、`retentions`パラメータを使用して、頻度を5分に設定し、保持期間をお客様の環境に適した日数に設定する必要があります。

  保持期間は環境が許す限り長く設定できますが、少なくとも1つの保持設定では、頻度値を5分に設定する必要があります。次の例では、`pattern`パラメータを使用して`Unified Manager` 用のセクションが定義されており、値によって初期頻度が`5`分、保持期間が`100`日に設定されます。 **`[OPM]`**

  ```
  pattern = ^netapp-performance\..

  retentions = 5m:100d
  ```

  > デフォルトのベンダータグが「`netapp-performance`」から別のものに変更された場合、その変更は `pattern`パラメータにも反映する必要があります。

> Unified Managerサーバがパフォーマンス データを送信する際にGraphiteサーバが使用できないとデータは送信されず、その間のデータは収集されません。

Active IQ Unified Manager と外部データプロバイダー間の接続を設定する

Unified Managerから外部サーバにクラスタのパフォーマンス データを送信できます。送信する統計データの種類およびデータの送信頻度を指定できます。

開始する前に

- Unified Managerサーバのメンテナンス コンソールへのログインが許可されているユーザIDが必要です。
- 外部データ プロバイダに関する次の情報を用意しておく必要があります。
  - サーバの名前またはIPアドレス（IPv4またはIPv6）
  - サーバのデフォルト ポート（デフォルトポート2003を使用していない場合）
- Unified Managerサーバから統計データを受信できるようにリモート サーバと他社製ソフトウェアを設定しておく必要があります。
- 送信する統計データ グループを確定しておく必要があります。
  - PERFORMANCE_INDICATOR：パフォーマンスモニターの統計情報
  - RESOURCE_UTILIZATION：リソース利用状況とパフォーマンスモニターの統計情報
  - ドリルダウン：すべての統計情報
- 統計情報を送信する時間間隔（5分、10分、または15分）を把握しておく必要があります。

  デフォルトでは、Unified Managerは5分間隔で統計データを収集します。送信間隔を10分（または15分）に設定すると、1回に送信されるデータ量が、デフォルトの送信間隔（5分）で送信する場合の2倍（また

は3倍）になります。

> Unified Managerのパフォーマンス収集間隔を10分または15分に変更した場合は、送信間隔もUnified Managerの収集間隔以上に変更する必要があります。

1台のUnified Managerサーバと1台の外部データ プロバイダ サーバ間の接続を設定できます。

手順

1. Unified Managerサーバのメンテナンス コンソールに、メンテナンス ユーザとしてログインします。

   Unified Managerメンテナンス コンソールのプロンプトが表示されます。

2. メンテナンスコンソールで、「外部データプロバイダ」メニューオプションの番号を入力します。

   [External Server Connection]メニューが表示されます。

3. 「サーバー接続の追加/変更」メニューオプションの番号を入力してください。

   現在のサーバ接続情報が表示されます。

4. プロンプトが表示されたら、 `**y**`と入力して続行します。
5. プロンプトが表示されたら、接続先のサーバのIPアドレスまたは名前、サーバのポート情報を入力します（デフォルト ポート2003と異なる場合）。
6. プロンプトが表示されたら、入力した情報が正しいことを確認するために `**y**`と入力します。
7. いずれかのキーを押して[External Server Connection]メニューに戻ります。
8. 「サーバー構成の変更」メニューオプションの番号を入力してください。

   現在のサーバ設定情報が表示されます。

9. プロンプトが表示されたら、 `**y**`と入力して続行します。
10. プロンプトが表示されたら、送信する統計データの種類、統計データの送信間隔を入力し、統計データの送信を今すぐに有効にするかどうかを指定します。

のために...	入力する内容
Statistics group ID	**0** - PERFORMANCE_INDICATOR （デフォルト） **1** - RESOURCE_UTILIZATION **2** - ドリルダウン

のために...	入力する内容
Vendor tag	外部サーバー上に統計情報が保存されるフォルダの分かりやすい名前。「`netapp-performance`」はデフォルト名ですが、別の値を入力することもできます。 ドット表記を用いることで、階層的なフォルダ構造を定義できます。例えば、`**stats.performance.netapp**`と入力すると、統計情報は **stats** > **performance** > **netapp** に配置されます。
Transmit interval	**5**（デフォルト）、 **10**、または `**15**`分
Enable/disable	**0** - 無効にする **1** - 有効にする（デフォルト）

11. プロンプトが表示されたら、入力した情報が正しいことを確認するために `**y**`と入力します。
12. いずれかのキーを押して[External Server Connection]メニューに戻ります。
13. メンテナンスコンソールを終了するには、 `**x**`と入力します。

接続設定が完了すると、選択したパフォーマンス データが指定したサーバに指定した送信間隔で送信されます。送信された指標が外部ツールに表示されるまでに数分かかります。新しい指標を表示するには、ブラウザの表示の更新が必要になる場合があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。